

觀我齋 趙榮祐 畫學考(上)

姜 寬 植

目 次

· 緒 言	· 觀我齋 趙榮祐 繪畫作品
· 觀我齋 趙榮祐 生涯	1. 概觀
1. 家系	2. 山水畫
2. 生涯	3. 花鳥畫
3. 師承 交游	4. 人物畫 風俗畫
· 觀我齋 趙榮祐 繪畫觀	· 結語
1. 寓意	
2. 詩書畫一致	
3. 事實主義	
4. 效用論 風俗畫	

· 緒 言

眞山水 風俗畫 繪畫史 恭齋 尹斗緒
(1668 1715) 謙齋 鄭敼(1676 1759), 觀我齋 趙榮祐 (1686 1761) 士人畫家
民族情緒
가 壯擧가
가 賞讚
가 가
가

* 揭載.

先學 論考
가 1), 繪畫觀 2), 思想史的 3),
畫蹟 4)
1984 『觀我齋稿』 《麝臍帖》 ,
俗畫 가 가
가 가
5)
本稿 先學 畫學
가 家系 生涯, 師承, 交游 가
『觀我齋稿』 가
가 가
畫學 가
가
觀我齋 趙榮祐 生涯

1. 家 系

觀我齋 趙榮祐 (1686 1761) 慶南 咸安 , 字가 宗甫 , 號가 觀我齋 石溪山人⁶⁾ (1674 1720) (1724 1776) 가
性理學 研鑽 牧民 道
技藝 性癖 가

-
- 1) 李東洲, 『 』, 博英社, 1975; 俞俊英, 「九曲圖 發生 機能 -韓國實景山水畫 發展 一例」, 『考古美術』 151號, 1981, 崔完秀, 「謙齋眞景山水畫考」, 『潤松文華』 21・29・35號, 1981・1985・1988; 安輝濤, 「朝鮮 山水畫」, 『山水畫(下)』, 中央日報社刊 韓國 美 12, 1982; 同, 「韓國風俗畫 發達」, 『風俗畫』 中央日報社刊 韓國 美 19, 1985; 李泰浩, 「眞景山水畫 展開過程」, 『山水畫(下)』, 1982; 鄭炳模「佩文齋耕織圖 受容 展開- 朝鮮朝後期俗畫」, 韓國精神文化研究院附屬大學院 碩士學位論文, 1983; 李英淑, 「恭齋 尹斗緒 繪畫研究」, 弘益大學校 大學院碩士學位論文, 1984.
 - 2) 洪善杓, 「朝鮮後期 繪畫觀-實學派 繪畫觀」, 『山水畫(下)』, 1982; 李仙玉, 「澹軒 李夏坤 繪畫觀」, 大學校 大學院 碩士學位論文, 1987.
 - 3) , 「朝鮮後期 風俗畫變遷 思想史的 檢討」, 『潤松文華』 36號, 1989.
 - 4) 姜世晃 『豹菴遺稿』, 尹斗緒 『記拙』, 李夏坤 『頭陀草』, 趙榮祐 『觀我齋稿』 《麝臍帖》, 南泰膺 『聽竹書史』 .
 - 5) 安輝濤, 「觀我齋稿 繪畫史的 意義」. 『觀我齋稿』, 韓國精神文化研究院, 1984, 俞弘濤・李泰浩, 「觀我齋 趙榮祐 繪畫-作品概觀 解說」, 『觀我齋稿』, 1984; 俞弘濤, 「朝鮮後期 風俗畫 先驅-觀我齋 趙榮祐」, 『空間』 211號, 1985.
 - 6) 石溪山人 吾世昌 『槿域書畫徵』 卷5 趙榮祐 條 .

白岳藝苑

後景

畫學

가

國初

咸安趙門

先德

老論

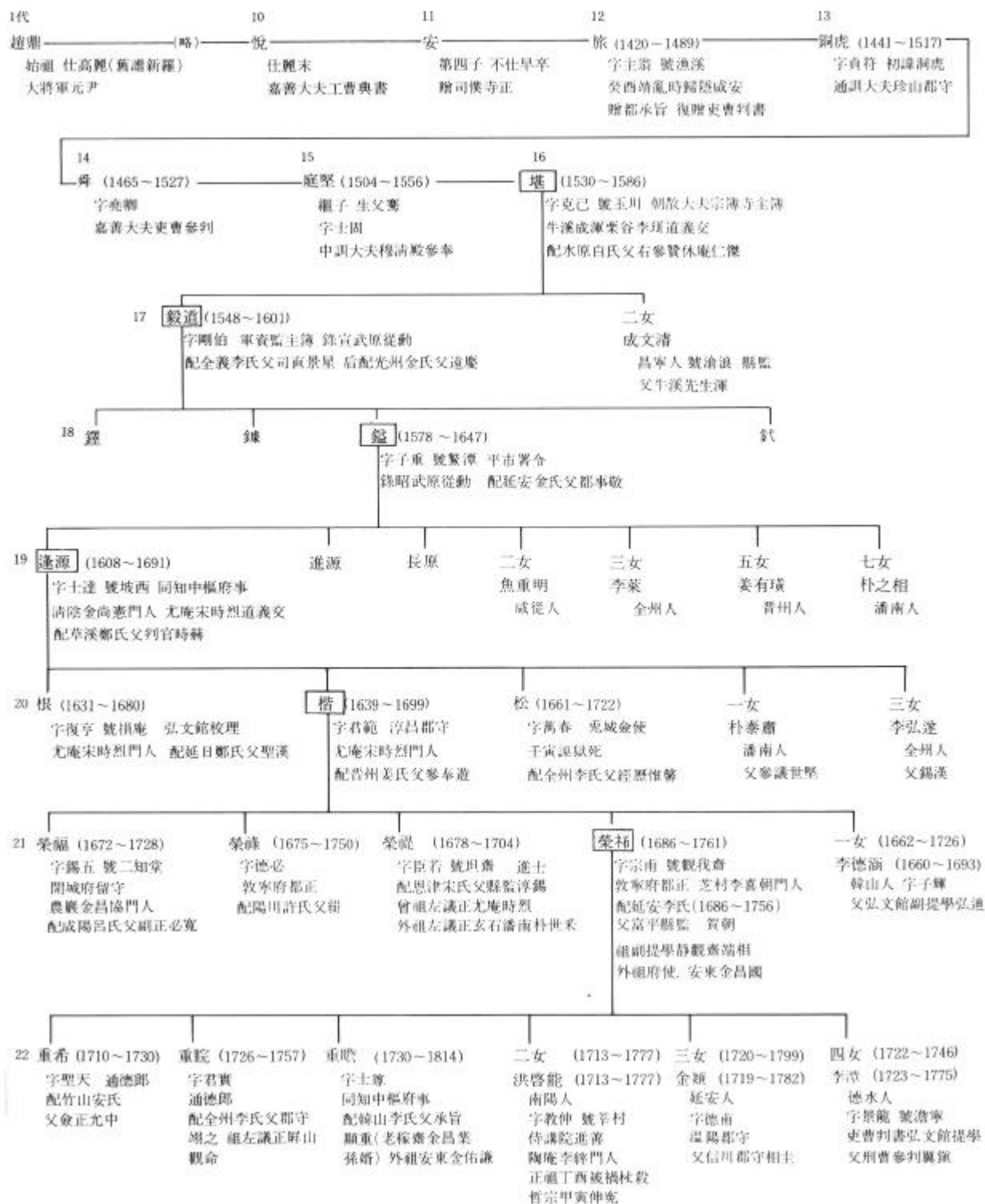
家系的

外延

咸安趙門 清風 大節 名門 麗末鮮初 高
麗守節臣 琴隱公 悅 11代祖가 李成桂(1335 1408) 易姓革命
(1392) 李穡(1328 1396), 吉再(1353 1419) 咸安
不事二君 , 恭讓王 (1394)
3 服喪 忠節 咸安趙門 咸安趙門
가 碩德
琴隱公 旅(1420 1489) 9 가 世祖가
端宗 廢位奪座 暴舉(1455) 梅月堂 金時習(1435 1493) 道
洛東江 가 , 世稱 生六臣 漁溪先生 咸
安趙門 清風大節 名門 , 漁溪 參判公 舜(1465
1527) 中宗反正(1506) 都承旨, 大司憲, 吏曹參判 鉅族
先德 參判公 子 庭堅(1504 1556) , 巨儒 趙光祖
(1482 1519) 大學 稱 休菴 白仁傑(1497 1579) 交游 女
子 堪(1530 1586) 婦 , 堪 同門弟子 牛溪 成渾(1535 1598) 子
成文潛 女 牛溪 成渾, 栗谷 李珥(1536 1584) 心服 交 ,
咸安趙門 16
順化坊 彰義里 仁王谷 世居地 京居 士大夫가
咸安趙門 家風 17 老論
老論內 京華鉅族 安東金門, 延安李門
坡西公 逢源(1608 1691) 學問 德望
祖父 清陰 金尙憲(1570 1652) , 1659 尤庵 宋時烈(1607 1689)
童蒙教官 安東金門 棟樑 夢窩 金昌集(1648 1722), 農巖 金昌協
(1651 1708), 三淵 金昌翕(1653 1722) 가 , 根(1631
1680) (伯父) 楷(1639 1699) (父) 尤庵
楷 長子 榮福(1672 1728)
妻男 延安 李賀朝(1664 1700) 女 末子 婦 , 尤庵 曾孫女 玄石
朴世采 外孫女 恩津宋氏 三子 榮樑 (1678 1704) 婦 妻伯
父 尤庵 高足 延安 李門 中樞 芝村 李喜朝(1655 1724)
咸安趙門 (1674 1720) 英祖(1724 1776)
伯氏 二知堂 榮福 戶曹參判, 都承旨, 開城留守, 漢城府右尹
猛將
樞要職

觀我齊 趙榮祐 家系圖

(成安趙氏 參判公派)



文士 交友 浮沈 , 家系的
軸 .⁷⁾

2. 生涯

1686 (肅宗 12) 2月 14(陰) 6代祖 主簿公(堪) 世居地 北部
順化坊 彰義里 仁王谷 四男一女 .⁸⁾ 禮賓寺直長⁹⁾ (楷)
가 50 普州姜氏가 45 晩得子 . 가
伯父(根)가 6 50 , 79 組父
(逢源)가 金知中樞府事 , 45 父
가 25 가 10 得男
가 , 伯氏 榮福 15 , 仲氏 榮祿 11 , 李氏 榮提 9
晩得
伯氏, 仲氏
多福¹⁰⁾
10 . 14 淳昌郡守 가 가
61 가 , 10月 가 가
가 , 婚談 丈人 李賀朝 37 7月
病死 , 連喪 .
가 伯氏 ,
伯氏 29 生員試 가 5
李賀朝家 가 無後 가 長女(1686 1756) 가
病死 伯氏 李喜朝가 長女
¹¹⁾ 家
人生 哀歎 妻伯父 李喜朝
妻男 伯氏 榮福
農巖 金昌協 舍弟 三淵 金昌翁, 老稼需齋 金昌業(1658-1721)
가 10
白岳山 安東金門
槎川 李秉淵(1671 1751), 謙齋 鄭敦(1676 1759), 知守齋 俞拓基(1691

7) 觀我齋 家系 『咸安趙氏參判公派派譜』 越鏞昇(外)編, 『咸安趙氏文獻錄(上)』 『咸安趙氏言行錄』 . 京居世舊地 『觀我齋稿』 卷1「次歸園田居韻」 卷2「宅記」 .

8) 『觀我齋稿』 卷1「次歸園田居韻」 卷2「宅記」 .

9) 禮賓寺直長 轉任 慶尙道察訪 (『咸安趙氏言行錄』) .

10) 『觀我齋稿』 卷4「祭含姊文」, 「祭伯氏二知堂墓文」, 「祭李甥立之文」 .

11) 李喜朝, 『芝村先生文集』 卷27「亡弟行錄」 .

1767) 師兄 竹馬之友 知己가¹²⁾
 20代 芝村 門下
 , 科業
 24 芝村 同門 李亮臣(芝村 長子), 李台重
 (芝村 從表孫) 水落山 寫景詩 三淵 文士
 雅趣 風流¹³⁾ 畫技
 1709 夢窩 金昌集 三淵 金昌翁 楊州 靈芝山 太極亭
 太極亭記 序文 가
 雅會 芝山圖革¹⁴⁾
 , 가 員像 草 李亮臣
 同門 諸人¹⁵⁾ 芝村¹⁶⁾
 20代
 가 19 李童山 仇英 筆 <清明上河圖>
 , <
 "風俗" "文物制度" "有益"¹⁷⁾, 24
 芝村 雅會圖 風流
 20代 25
 10 長子 重希¹⁵⁾ 28 進士試 仕表
 30 近思錄 朱子書¹⁹⁾
 1718 33 從 9品 章陵參奉 仕宦 甲戌換局(1694)
 西人 , 1717 夢窩 金昌集
 1719 伯氏 榮福 冬至副使 燕行 咸安趙門
 30代 司獲院奉事(從 8)
 36 1721 12 王世弟(英租) 辛壬士禍(1721)
 1722) 老論 가 靈巖 承旨 伯氏가 善山
 가 金昌集(1648 1722), 李 命

12) 『誤我索締』卷2「俞同敦廣基八十序」, 卷3「金尊甫詩軸跋」 「漫錄」, 卷4「祭艮庵李先生文」 「謙齋鄭同樞哀辭」, 俞拓基 撰「敦寧府都正趙公墓誌銘」(『知守齋集』 卷10)

13) 李喜朝, 『芝村先生文集』 卷20「書兒輩水落詩後」

14) 李麟祥, 『凌壺集』 卷4「觀我薄芝山 草本流(再責)」

15) 『觀我齋稿』 卷3「漫錄」, 註 121)

16) 上同. 註 86)

17) 上同 卷3「清明上河圖跋」, 註 144)

18) 가 官職 『咸安趙氏參判公派派譜』, 『咸安趙氏言行錄』, 洪啓能 撰「通政大夫敦寧府都正觀我齋趙公行狀」(國立中央圖書館藏本) 「觀我齋趙公行藏」(『莘村集』第3冊 所載本) 註

19) 李喜朝, 『芝術先生文集』 卷15「答趙宗甫榮^拓丙申)」

(1658 1722), 李建命(1663 1722), 趙泰采(1660 1722) 4大臣 賜死
 白岳藝苑 宗匠 三淵 金昌翁 心惱 憤死 下位職 黨禍가
 尙瑞院直長(從 7) , 脫然 外邑 .
 가 外邑 咽喉 奇疾 가
 20), 悲憤, 餘閑 詩書畫 .
 1723 38 가 紀年作 <船游圖> <山水圖>
 가 七言詩 , 伯氏가 善山 가 原州
 1
 가 靈巖 凸山 移配 定州 가
 가 4 , 尤庵 正學 偷生 邪說
 黨禍 咽喉 奇疾
 哭 祭文 東峽
 21)
 39 1724 8 少輪 景宗(1720 1724) 老論
 英組(1724 1776)가 3
 (1725) 40 恭陵參奉(從 7) 가 伯紙
 慶尙道觀察 (1726) 掌苑署別提(從 6) 司憲府監察(正 6),
 濟用監主簿(從 6), 司僕寺主簿(從 6) 內職 , <松鵲圖>
 가 (1727) 義禁府都事(從
 5) , 英祖가 黨爭 丁未換局 人事調整 戶曹佐郎
 (正 6) 가 燕岐縣監(從 6) 權詹 辛
 壬士禍 伯氏 , 伯氏 削黜 忠州 村舍 寓居
 가 遞任 22) 가 (1728) 刑曹佐郎(正 6) 堤川縣監
 (從 6) , 洪季信 俞默基 對酌 洪季信 小扇
 草書法 揮灑 <三人對酌圖> 23)
 堤川縣監 , 3 英祖 老論 清州 李麟佐
 亂 單騎 .
 伯氏가 , 43 長
 雅趣 . 客館 堂 額
 韓石峯 癡軒 二大字 模寫 , 長子 重希 漢隸 癡軒記
 24), 歐陽修 王安石 故事 堂名 平岫堂

20) 『觀我齋稿』卷4「祭長奪李先生次」 .

21) 上同.

22) 上同 卷3「漫錄」 .

23) 上同 卷1「俞參奉默基挽」, 註 122) .

24) 上同 卷3「癡軒記跋」 .

37) 慎守彝，黃臯集。卷2「奉別城主趙公榮補立序」，敬奉上 恤臨下 政簡而治成 刑省而吏 賦役均 糴糴時 學校興 官宇修 七事舉而百廢興 百里之內小大之民 咸得樂其職安其業 六載如一日者耶。

牧民官 德裕山 勝景 光風樓 霽
 月堂 光風, 霽月, 歸詠 額 篆書 風流 38).
 <晉州鎮營轅門樓記>(1739). <凝石寺重手記>(1740), <琴鶴軒記>
 (1741), <清節樓記>(1741) 39).
 1743 安陰縣監 連任 , 正言 重晦
 (1711 1782, 伯氏 榮福 次子)가 英租 私廟行 論 가大怒
 . 가 가 40)
 , 1748 4 無官 餘閑
 , 1746 61 老筆 가 <歸漁圖>
 . 凌壺觀 37 李麟祥(1710 1760) 觀我齋
 , <西園雅集圖> 文人 雅會 ,
 가 30 <芝山圖> 가 農巖
 三淵, 芝村 先賢 死後 가 世熊 , 太極亭 가
 <芝山圖>가 <芝山圖草本> 41).
 老筆 가 <雪丘鵲鳴圖> , 8
 顧炳 『顧氏畫譜』 , 《海岳帖》 ,
 《嶺南帖》, 《四郡帖》 山海經 刻法
 題文 42).
 清適 翰墨 餘閑 1748 御容摹寫
 1 肅宗御眞 重摹事가 英租가 禮曹 郎廳
 啓下 가 監董 入參
 . 相臣 金興慶(1677 1750) 親族 金鎮東 6品
 監造官
 筵臣 , 父王 御眞
 가 技藝
 禮記 衆史 衣冠 가
 左右 筵臣
 .
 . 2 20 刑曹正郎(正 5)
 가 , 司穉院僉正(正 4) 가 5 白川郡守

38) 「觀我齋稿」卷2 「光風樓霽月堂重修記」 .

39) 上同 卷2 .

40) 洪啓能 撰, 「通政大夫郭寧府都正觀我齋公行狀」 .

41) 李麟祥, 『凌壺集』卷4 「觀我齋芝山圖草本跋」 .

42) 崔完秀, 「謙齋眞景山水畫考」, 『潤松文華』35號, 1988.

(正4) 近京 43) 『觀我齋稿』 老年
 44) 洪啓能(1713 1777) 行狀 가 朱子學
 筭記 3 4帙 , 1748 御眞事
 , 儒者
 가 .
 白川郡守 郡民 善政 ,
 가 .
 1752 1753 金吾 下獄 英祖 " (觀過知仁)"
 筵敦 45) 司導 寺僉正(從4) ,
 廣興倉守(正 4) , 1756 71 肅宗 第2繼妃 仁元王后(1687 1757)
 寶齡 七旬 恩典 通政大夫 金知中樞府事(正 3) . 敦寧府都正(正
 3) 復拜 . 1751 木峯川 李秉淵 卒 , 1756 57 夫人
 延安李氏 次子 重目完 不歸 客 , 1759 謙齋 鄭散 沒 老年
 , 70代 仕宦 38 堂上
 가 76 1761 3 27 老病 卒 . 死後 吏曹參判 追贈 5 坡州郡
 游山里 夫人墓 合葬 .
 實紀 , 學問講磨 經
 世濟民 文科 仕宦 仕宦 老論 浮沈 , 40 60 中
 . 仕宦 世年期 20 外邑 民 . 儒者
 畫事 , 가 效用論的 繪畫觀
 儒者 民

3. 師承 交游
 畫學 가 .
 畫學 先學 知己 ,
 가 先學 芝村 李喜朝(1675 1724) 農巖 金昌協
 (1651 1708), 三淵 金昌翕(1653 1722) .
 가 妻伯父 ,
 가 가 .
 尤庵 松時烈 朱子主義的 義理名分論 尊周攘夷 北伐大義論⁴⁶⁾
 高足 1724 黨禍 .

43) 洪啓能 撰, 「通政大夫敦寧都正觀我齋公行狀」 . 藏 『莘村集』 「觀我齋
 趙公行狀」 .

44) 『觀我齋稿』 卷3 「漫錄」, 註 86)

45) 洪啓能 撰, 「通政大夫敦寧都正觀我齋公行狀」 .

46) 崔完秀, 「謙齋眞景山水畫考」, 『澗松文華』 21號, 1981.

禮意 正覺 後學 禽獸 艱難 義理 名分 儒者 御眞重摹 47)

儒者 月沙 李廷龜 (1564 1635) · 白洲 李明漢 (1595 1645) · 靜觀齋 李端相 (1628 1669) 3代 文名 大文章家 尤庵 高足 가 文藝 京華鉅族

文藝 朱子主義 朱子 文藝觀 載道論 道 48) 忽視 朱子學的 勘懲 世教 「書韓子剛騎驢圖後」 載道論的

韓君 子剛 (女玉) 山水 가 子剛 <騎驢圖> 6 歐陽修가 物 (6) 가 着購 筆格 臻妙 , 評畫者가 清曠 清曠 儒家 法 谷雲居士 金延之 (壽增) 衆先生 (朱熹) 鞏仲至 (豐) 商量 <陳荀相會圖> 先生 議論 勸懲 廬山 臥龍菴 遺事 <漢忠武侯像> 堂中 世教 ! 延之 가 先生 子剛 가 子剛 49)

47) 『觀我齋稿』卷1 「艮菴李光生門人申卞流」 卷4 「祭艮菴李先生文」

48) 松時烈, 『朱子大全』卷148 「書洪九以所藏海東儒先帖後」. (然)愛其書不如愛其人 愛其人不如愛其道.

49) 上同 卷148 「書韓子剛騎驢圖後」. 韓言子剛少好騎驢 終場深放山水計 余勉以賣驢爲食 杜門看書 今子剛又得騎驢陶六幅 前甚愛之 歐陽子所謂物常聚於所好子 信然矣 茲六幅 幅爲一事 總皆有清曠之趣 筆格亦各臻妙 未知評畫者以爲如何也 余謂 斯六事者 則清曠矣 第非吾儒家法也 近者谷雲居士金延之 依放朱先生所與鞏仲至商量者 作陳荀相會圖 因著諸先生議論於其後 以寓勸懲 又依廬山臥龍菴遺事 畫漢忠武侯像置之堂中 其有補於世教也 大矣 延之圖能讀先生 書於其間 願子剛一策長耳就而見之 仍盡讀其所讀書而歸 則凡前日之所好者 皆無 以入於其心矣 未知子剛其果以爲然乎.

斯文 世道 가
 澤堂 李植(1584 1647) 鷄谷 張維(1587 1638) 明
 無比 가 . , 澤堂 朱子學 50) 義理가
 精深 論議가 繁飾 眞實 , 明
 陽明 王守仁 白沙 陳獻章 朱子學 眩言 秦漢
 假文 理致 51)
 朱子 異端 明
 52) 文化觀 가
 載道論的 , <海山唱酬錄序> 附記
 唱酬錄 가 唱酬錄 가 1
 53) , 가 名勝 放浪
 , 一句一字
 本源 仁者 智者
 朱先生(朱熹) 南獻酬唱 義理
 交游
 先生 가? 가
 先生 兩葉斧柯 詩 53)
 說
 朱子學的 道義가 載道論的
 儒者 本分 54) 御眞重摹事 55)
 가 載道論的

50) 前同 「杜詩點註跋」. 澤堂公議論 無論細大淺深 一衣於朱夫子 觀乎杜詩點抹之序 可見矣.

51) 上同 卷138 「澤堂集序」. 然求其義理之精論議之正 可以羽翼斯文裨補世道者 則未有若澤堂公文稿者也 (中略) 故雖博極泛濫 而擇之也精 辨之也詳 而其發爲文章者 則未有若澤堂公文稿者也 (中略) 今公既於朱子書 涉其流而游其波 則眞所謂觀於海者也 是以其識見愈大 體驗愈深 而其意則愈謙 其可以知公者 實在於此矣 然程朱以後 義理大明 大而天地高深 微而蠶牛絲毛 無不闡發 則 辭異說 亦可以止矣 而自皇朝以後 如陽明白沙輩 蜂起 鳴 各自眩 故書益多 而理益晦 雖洪水懷襄 而其害蔑以加矣 然則公之議論文章 其可出終不傳於今與後歟.

52) 李喜朝, 『芝村先生文集』 卷20 「讀書 語發」. 盖自朱夫子沒 而學術漸乖 至我皇明則尤甚焉.

53) 上同 卷19 「海山唱酬錄序」. 錄既成 余更 觀錄中諸作 則首尾百五十三篇 固皆出於記勝遣興之實 而然放浪之辭太多 驚省之語絕少 無一字一句道此箇意思者 是盖本源之工 有所未純 而觀山觀水之際 不能深得 其仁智之樂而然耳 昔朱先生南嶽酬唱無非出於義理 耳猶且自以爲害 荒交相勉勵 則今吾輩此行 無乃大有害於身心而深得 罪於先生也邪 三復先生兩葉斧柯之詩 不覺 然有感 仍書此說於其下 以識余愧云.

54) 『觀我齋稿』 卷3 「漫錄」. 註 121)

55) 上同.

後述 載道論的 儒者 가 載道論的 載道論的
 가 農巖 金昌協 三淵 金昌翁 가
 事業 遂菴 權尙夏(1641 1721) 老論
 가
 師承 靜觀齋 李端相 拙守齋 趙聖期(1638 1689) 理氣論 栗谷
 退溪 人物性 同異
 聖凡人心同異論事 韓元震 湖論系 人物性同論 聖凡人心同論
 洛論的 가 56) 文藝 가 가
 尤翁 鷄谷 靜觀齋
 (李端相) 鷄谷 歐陽修 蘇軾 , 明 300
 가 陽明(王守仁) 誇張 震耀 鷄谷
 論 典雅 通暢 辭
 理가 體裁가 大家
 , 氣調 才力 . 明 가 空
 同(李夢陽) 州(王世貞) 一派 韓愈 歐陽修 正脈 , 遜志(方孝
 儒) 陽明, 遵巖 (王慎中), 荊川(唐順之) 大家 經術 理致가
 宏博 精深 高明 峻潔 鷄谷
 陽明 誇張 가 操縱
 張皇 尤翁 明
 古文 遵巖 荊川 一派가
 鷄谷 57)

56) , 「北學思想 形成 性格-湛軒 洪大容 燕巖 朴趾源」, 『韓國史論』 8, 1982, 同, 「18・9 老論學界 山林」, 『 』 3, 1986.

57) 金昌協, 『農巖集』 卷34 「雜識」. 尤翁 推豁谷文章 謂東方第一嘗語靜觀齋云 豁谷去歐蘇不遠 大明三百年未
 有其比 陽明雖誇張震耀 而其實不如 此論⁵⁶⁾ 恐未然 豁谷文典雅通暢 辭理俱備 體裁不苟 在吾東固當爲大家
 然其氣調才力實不及古人 明人如空同 州一派 固非韓歐正脈 至於遜志陽明遵巖荊川數大家 皆深於經術 優
 於理致 宏博精深 高明峻潔 皆非豁谷所能及 陽明誠有誇張處 然其天才自高 長於操縱 非徒爲張皇者也 尤
 翁實不多見明文⁵⁷⁾ 謂明人皆爲學古文 不知自有遵巖荊川一派 豁谷正在其範圍中耳.

詩 唐 唐 唐 唐
 詩 性情 寄興 故實 議論 千
 唐 唐
 百年 가 聲音 氣調가
 儼然 天然
 가? ⁵⁸⁾
 性情 性情
 性情
 詩 性情 事物
 가 古今 가? ⁵⁹⁾
 錄(李賀朝 西遊錄) 가
 佳篇秀句가
 가 가? 詩 가 勝景
⁶⁰⁾
 門下 閭巷詩人 洪世泰(1653 1725) 閭養人 詩 『海東
 遺珠』 61) 閭巷文學 62)

三淵 農巖 文藝觀

58) 前同。詩固當學唐 亦不必似唐 唐人之詩 主於性情興寄 而不事故實議論 此其可法也 外唐人自唐人 今人自今人 相去千百載之間 而欲其聲音氣調無一不同 此理勢之所必無也 強而欲似之 則亦木偶泥塑之象人而已 其形雖儼然 其天者固不在也 又何足貴哉。

59) 上同。夫詩之作 貴在抒寫性情 牢籠事物 隨所感觸 無手不可 事之精粗 言之雅俗 猶不當揀擇 況於古今之別乎。

60) 上同 卷25 「題李樂甫西游錄後」。今觀此錄數十百篇 大 皆率意信筆之作 卽事寫景 語皆真實 而佳篇秀句 未嘗不錯落其間 詩如是足矣 何必過求工麗 彼矜持太甚 往往對境愚勝口 不能出一語者 要皆好名之過耳。

61) 洪世泰, 『柳下集』 卷9 「海東遺珠序」。農巖金相公嘗謂余曰 東詩之採輯行世者多矣 而閭巷之詩獨厥焉 泯滅不傳可惜 子其採之 余於是廣加搜索 得諸家詩稿 披沙揀金 務歸精約 至於人所口誦其可者 靡不收錄。

62) 鄭玉子, 「朝鮮後期 文風 委巷文學」, 『韓國史論』 4, 1978.

性理學 老莊 佛經 가 中庸
 63) 仲氏 農巖 下棺 野人 學問 詩文
 文章 癖 64) 가 門下人 祭文 品評
 山水 癖 7 10 山水 65) 가
 尤庵 66) 가
 遊覽 山川
 寫景詩文 67)
 供郎 記文 가
 集 遊覽記 奇筆 文
 快事 68) 後生
 詩的 寫景詩文
 詩 300 가 (思無邪)' , 大綱
 (詞欲巧)'
 <綠衣>, <燕燕>, <凱風>, <匏葉>, <谷風> 章
 가
 詞致가 가?⁶⁹⁾
 가
 가 詩文

63) 金信謙 撰, 「三淵先生行狀」(『檜巢集集』 第 2冊) 金亮行 撰, 「行狀」(『三淵年譜』 附) .

64) 『觀我齋稿』 卷3 「漫錄」 .

65) 註 63) 『三淵集』 卷13 .

66) 崔完秀, 「謙齋眞景山水畫考」, 『澗松文華』 21號, 1981.

67) 上同, 「謙齋眞景山水畫考」, 『澗松文華』 29號, 1985. 「導言」 .

68) 金昌翁, 『三淵集』 卷21 「答魚有鳳」. 洪郎記文 默次入細 往往如畫 又情興逸發 躍如豪楮之上 眞奇筆也 每恨東人文集罕見好游記 而今乃得之於後生 亦一快事.

69) 上同 卷35 「目錄」. 詩三百 一言以蔽之曰 思無邪 大綱正矣 更欲添三字曰 詞欲巧 且以綠衣燕燕凱風 匏葉谷風等章觀之 其託興取譬 節節入細 種種呈巧 工妙不可言 今人爲詩 假令命意雖眞實正直 而詞致不稱 則赤何能起發人乎.

70) . 會試
 가 農庵 少論系
 71) 藝學 安東金門 가 載
 道論的
 文章癖 72) , 多
 藝人 秘奧 ,
 藝學
 가 交游 檀川 李秉淵(1671 1751) 順庵 李秉成(1675
 1735) , 謙齋 鄭叡(1676 1759), 知守齋 俞拓基(1691 1767), 寤齋 趙正萬(1656 1739), 檜 巢
 金信謙(1693 1738) 尤庵 門下 先學 ,
 安東金門 가 血緣 學緣 , 同里 師兄
 師友 .
 畫學
 三淵 門人 山水 癖 , 死後
 白岳藝苑 宗匠 眞景文化 寫經詩 大成 ,
 眞景文化 山水畫 大成 가
 大成 가
 詞人墨客 73) 10 年下
 眞景文化 가 가
 가 朝石 74) 同道 同志
 가 가 山水癖, 畫技
 山水癖 가 特長
 , 眞景文化 가
 가 , 1732 三陟府史 謙齋
 <大關嶺圖> 語 , 가
 <送三陟府使李炳淵序> 가
 眞景山水 記行

70) 『觀我齋稿』 卷3 「金尊甫詩軸跋」 「漫錄」 .

71) 上同 「漫錄」 . □癸巳監試 彼輩以李德海欲爲狀元 而吾黨則別無指擬之人 及會試 云云 .

72) 上同 「漫錄」 . 三淵盖於文章有痼癖 而不能脫者矣 云云 .

73) 崔完秀, 「謙齋眞景山水畫考」, 『澗松文華』 29 · 35號, 1985 · 1988

74) 『觀我齋稿』 卷4 「謙齋鄭同樞哀辭」

가 山水 詩畫 . 詩 學 , .

冠, , 鐘 上古 聖人 廢 山水

名儒 , 逸士 騷人 大賢

詩 性情 , .

孔子 川上 歎息 仁者 智者 說 가 川上 孔子

聖人 感通 妙 가 '需子'가

? 仁者 智者 氣像 山 崇厚 通運 廣大

? 가 善親 妙悟 가

가 , 山 ,

가 , 向子平(長) 謝玄暉(眺) 清虛 ?

上古 聖人 宋 儒賢 濫觴

濂溪(周敦臣貢) 晦菴(朱熹), 南軒(張) 儒賢 山水

高致 諸賢

賢者가 未流가 官府 가

가 가 , 가

官府가 士大夫 公言 가

詩 賈島 推敲 王厓 複壁 가

儒者 詩 가

가 ? 가 儒者

槎川 詩 三陟府使 가 , 鄭元伯(敦)
 <大關嶺圖>
 竹西 凌波 峯壺
 語 , 說 가
 嶺東 75)
 가 李亮臣, 李崇臣, 李度臣, 李雨臣,
 李台重, 李翼鎮, 李厚鎮, 李懸行, 李翊之, 李日 朴道源, 俞默基, 洪季信, 安寒田, 金大成,
 李童山, 李麟祥 , 血緣 地緣, 學緣
 畫學 李童山 李麟祥
 가 19 <清明上河圖>
 가 <清明上河圖>
 76), 畫學
 凌壺觀 李麟祥
 次子 重脔 左議政 屏山 李觀命(1661
 1733) 孫 重晦(伯氏 榮福 次子) 女 家
 計寸 完山李門 連婚 陶庵 李緯(1680
 1746) 門人 , 女 洪啓能 重晦가 同門 가 陶庵

75) 前同 卷2「送三陟府使李秉淵序」. 不佞平生無所嗜愛 惟山水詩畫篤好焉 然有究諸心 而未得者也 夫詩之學尚矣 畫亦自旅章鼎鐘 而上古聖人之所不廢也 至於山水之游 始自何人而無論逸士騷人即後世之大賢名儒 亦且欣然起想 往往孤滿幽造 若不可已者 夫詩觀性情 畫則文與書之所不能者 求之於畫 固亦有所取也 彼清流白石 不過為悅人心目者 何取於斯也 遊山水者 動以孔子川上之歎仁智之說為口實 然川上之歎 盖夫子固其所愚而發也 黃鳥丘隅 儒子濯纓 罔非聖人觸事感通之妙 何獨為洋洋之美也 仁智者氣像 如山之崇厚水之通運 自然有契 於彼而樂之也 何嘗曰樂山與水然後為仁為智事耶 且苟能善觀妙悟 馬嘶 皆有至理 何處非山何處非水 而必以蠟屐 布襪 窮探遠遊 鑿重 度深壑 前後為智事也 奚窮 究向子平謝玄暉清虛之徒 自以托跡淵邃寄心曠朗 遂以山水為一大高致也 然賢者之看山也 翛然 詣 其心目之間 默悟冥契者 固有異乎人之看也 而未流漸大 庸俗效顰 及其弊也 士則干謁官府 求 巧苟且 以資濟勝之具 為官者荒廢職事 貽怨僧民甚之 輕擲性命 度越險危 拋棄 時月 往而忘返 筋力疲勞 僕隸愁苦 而皆莫之恤 且山水之鄉 雖雄府饒邑 士大夫公言求之 無所嫌焉 尚何仁 智之可論也 夫詩與畫 雖痼癖如 賈島之推敲 王匡之複壁 其害及於其身而止已 山水之遊 害于身而及於人者如此 而儒者獨詩與畫 或多攻之 而遊山一事 未見有慮後弊而戒之者 何哉 不佞好遊山水 而恒恐一朝有人以是難之 則顧無以發明儒者之意 而以自解也 吾里 川翁 以詩鳴於世 而盡與山水痼癖久矣 今出宰三陟府 海山之勝 甲 於我東 翁未至 而請鄭元伯先作大關嶺圖 揭之壁上 且待下車之日 大欲跌宕吟嘯 於竹西凌波之間 府滄溟而憩蓬 壺矣 將行 責余以 語 遂書其所嘗未喻于心者 因以質焉 幸翁之解其說 而使不佞得有藉口則不佞亦當求一麾 於嶺東 得與周旋於泛海之舟藉草之席矣 .

76) 上同 卷3 「清明上河圖跋」. 註 144)

肅宗御眞重摹事

傳言

77),

藝苑 가 儒畫
, 1746 61 37 <芝山圖草>
78), 畫風上
淡墨調 雅趣, 가 蕭散
寫意的 水墨畫

觀我齋 趙榮 祐 繪畫觀

1. 寓意

書畫
學問講磨 經世濟民 士大夫
餘閑 書畫 弄 書畫界 二元的 가 士大夫
가 畫風 가 書畫
學問講磨 經世濟民 書畫 餘技 雜技, 小技, 末藝
弄 가 喜怒哀樂
聖人 外物 中和
凡夫 外物
秀 書畫 翰墨 弄 士人
畫家 寓意 寫意 墨 性癖 天機
79)
仁齋 姜希顔(1417 1464) 士人畫家
書畫 80) 書畫
儒者 가
書畫 가 가
『觀我齋稿』 散見
短片
病 三味
81)

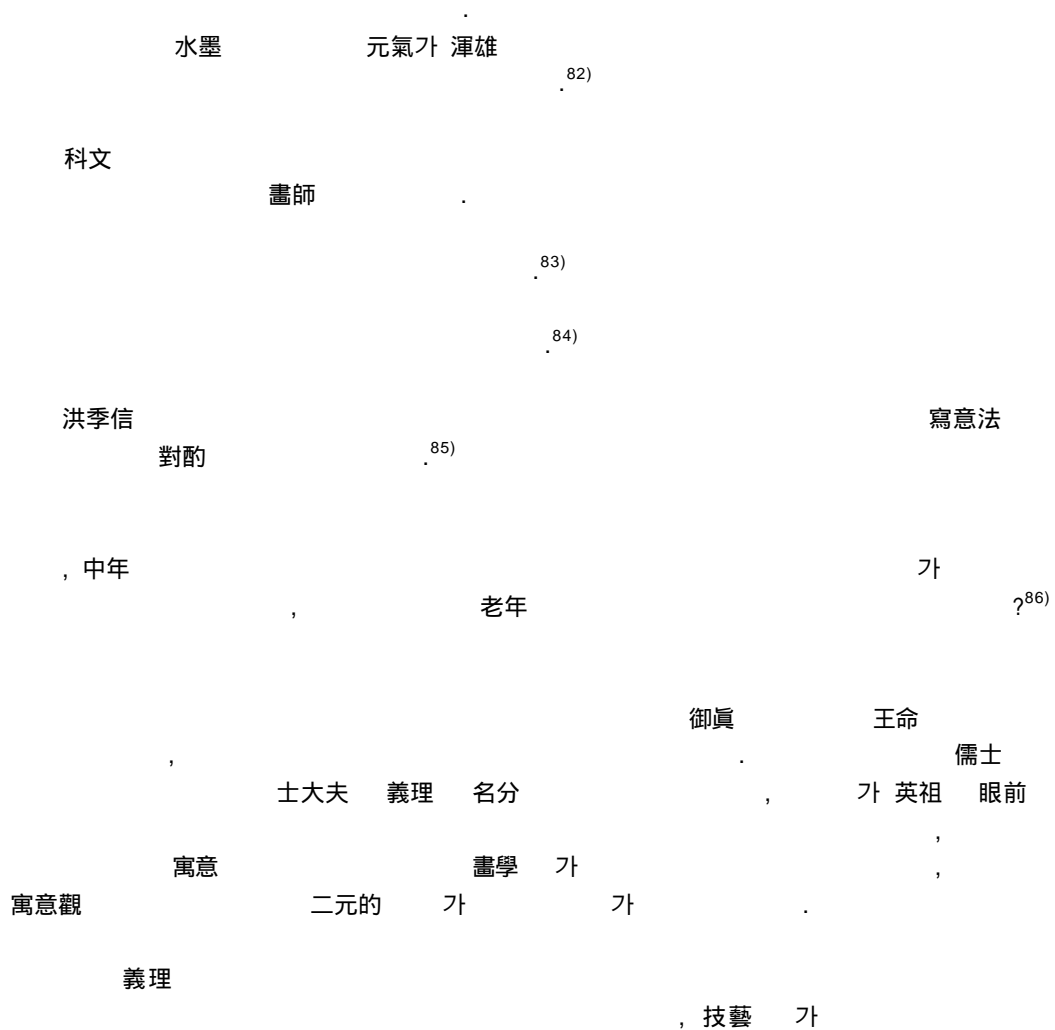
77) 洪啓能 撰,「通政大夫敦寧府都正觀我齋趙公行狀」, 陶庵李公緯嘗稱之日 有是哉 某之爲人 豈流俗可及.

78) 李麟祥,『凌壺集』卷4 「觀我齋芝山圖草本跋」.

79) 拙稿,「東坡 蘇軾 文人畫論 研究」, 大學校 大學院 碩士學位論文, 1983: 同,「南北二宗論考」,『曝園美術』2號, 1987.

80) 鄭良謨,「朝鮮前期 畫論」,『韓國思想大系 文學藝術思想篇』, 成均館大學校 大東文化研究院, 1973.

81) 『觀我齋稿』卷3 「謙齋鄭同樞哀辭」. 余亦癖好畫 略解三昧 然余則不爲從事.



82) 前同 卷1 「興至揮灑仍漫詠」. 老樹添崖數幹枯 青山揮盡又澄湖 心將水墨渾元氣 好畫成時百慮無.

83) 上同 「寢齋趙丈寄二絕句求書 遂合其韻作古詩一篇 以示斷手之意」. 學儷儒不得一紙紅 世人看我書師同 書亦何妨自遣興 其奈眼暗便成翁.

84) 上同「次族侄重明寄示韻」. 中無畫愁難遣.

85) 上同「俞參奉默基挽」. 註 122)

86) 上同 卷3「漫錄」，兒時學畫 不過性癖篤愛繪事 中年以疾病無處寓懷時 或試筆爲破悶之計 遂以此爲老年身害悔之何及。

聖人 禮經
 臣 가 圖 畫署 臣 命 .87)
 衣冠 가 ?
 衆史
 主上 召命 가 搢紳 가
 士大夫 醫理 가 藥 가
 , 先王 遺像 王獻之가 太極殿 榜額 謝安 가 '魏 韋誕 德
 名言 韋仲將(誕) 近世
 題額 , 子敬(王獻之) 가 德 未流 가
 謝安 名言 , 志節 識見 가
 晋代 清談之士 搢紳 藥 義理 道理上 가
 , 士大夫 가? 義理 輕重 .88)
 寓意 知己
 가 寤齋 趙正萬(1656 1739) 가 世祖
 御眞 重摹事 畫師 富意 가
 題
 古人 '儒者가 范蠡가 數千金

87) 洪啓凌 撰,「通政大夫敦寧府都正觀我齋趙公行狀」. 人臣之義見及授命 則有之 苟可以報效 雖湯火亦無所辭 至於執技事上 聖人著之禮經 俾不與士齒 臣雖微賤 豈可自同衆史 汗辱衣冠乎 且國家置圖書署正爲此地 人臣事言 各有其方 臣有死前已 不敢聞命.

88) 『觀我齋稿』卷3 「漫錄」. 余之不赴召命 搢紳間多有非之之論 至以爲 士大夫之病 士大夫之解醫理者 或參議藥 先王遺像 何可辭避邪 云 昔王獻之不書太極殿榜 謝安曰 魏朝韋誕諸人 亦自爲也王曰 魏祚所以不長 謝以爲名言 夫韋仲將之縣梯上題 固羞恥之事 在家書板 雖近世必不以爲嫌 而子敬之言 至以國祚之不長 謂由於此事 則若過矣 然究其未流 盖有如此之理 故謝安亦稱爲名 晋代清談之士 不足道 而若使士大夫必親自 癰而咀痔 則君上之病雖重 何可爲也 義理自有輕重故也.

愛好 天機 가 詩

水墨 元氣가 渾雄

累

寤齋 詩

長松 杜鵑
雙鶴, 雙鳶, 一

八旬

<蘭亭圖>

詩

心事 閻立本
親朋 <蘭亭圖>
堤妨 寤齋

詩 3 詩

伯() 가 宗甫() 鄭元
가? 80

가?

<寒江廳雨圖> 書法 陳眉公(繼儒)
沈石田(周) <劉草窓銅雀硯歌> 肖像
가 가

故事 89)

2. 詩書畫一致

가 1730	故事	寓意觀	
畫學		詩書畫一致	
文人畫	詩	詩片	
가	畫法		
詩書畫가	文人畫		
詩書畫 土人 富意			詩書
詩書畫一致		가	가
	가 詩書畫一致		
詩書畫一致	詩書畫 相關性	外的樣態	內的樣態 가
共存	, 前者	能	紙面 詩書畫가
詩書畫가 內的	外的	, 後者	詩書畫意 書畫用筆同法
가	90)		
	三絕	外的	農巖 金昌協 三淵 金昌翁
詩文	唐詩	가	簡齋 陳與儀
花卉	가		
詩	詩가	가	가 詩作
詩	詩評	三淵 門人 可洲 安重觀(1683 1752)	
가	詩學	91) 書學	
가	가	가 篆隸楷行草 衆體	農巖 金昌協
朝鮮書	92), 强健	筆力 楷正 字體	<船游圖> 附詩
<漁船圖> 款書가		董其昌	
93),	<古木圖>	< 蜞圖>, <巖下春兔圖>	自題傍書 董
其昌體	가	上等 書品	

89) 上同 「題趙判書正萬畫簇」. 古人云 儒家作畫 如范 烏夷三致千金 意不在此聊示伎倆 斯言誠然 然余意又有異於此者 蓋愛其天機在焉 故余詩曰 心將水墨渾元氣 好畫成時百慮無 非但爲伎倆也 然襍材日積反不勝其爲累 遂一切斷手 不復爲渾灑者久矣 日者 寢齋丈送紙求畫 詩以寄之曰 長松之下杜鵑紅 雙鶴雙鷺一 同 藤杖在肩 書在手 請君寫我八旬翁先是口余亦爲寢丈所迫作蘭亭圖 余辭以所戒不可再變 答其詩曰 畫以名成愧面紅 祇今 心事老閭閻 親朋口實蘭亭在 毀我 防自寢翁 寢丈覽詩大笑 又奇三詩 以爲冀贖毀 防之罪且曰 吾自謂平生 無水於人近爲宗甫及伯破戒 可謂墮失耶 然八十翁求索 亦復幾時也 余於是不可終辭者 遂用畫法而寫之 昔陳眉公乞寒江聽雨圖 沈石田畫劉草窓銅雀硯歌 皆非爲寫照 以寓其閑情逸致焉 今寢丈之所求 余之畫之者 蓋亦此意也 畫畢 竝記其往復酬和之語於紙末 以佛一時故事云.

90) 拙稿, 「東坡 蘇軾 文人畫論研究」, 大學校 大學院 碩士學位論文, 1983.

91) 洪啓能 撰, 「通政大夫敦寧府都正觀我齋趙公行狀」.

92) 『觀我齋稿』 卷3 「漫錄」.

93) 洪啓能 撰, 「通政大夫敦寧府都正觀我齋趙公行狀」.

가 詩書畫三絶 虚言 , 가
詩書畫一致 가
詩書
. 詩書畫가 紙面 共存
題詩가 <松下人物圖> <松下處士圖>
一例 , 詩書畫一致 畫學
題詩
. 長松
白眼 94)
. 詩書畫가 內的 樣態
題詩 畫風 <松下人物圖>가
<松下處士圖> 書筆 畫筆
. 詩書畫一致論 筆法 書畫用筆同法 ,
가 "畫法 "95)
畫法 , <古本圖> < 棋圖> ,
, 寫意性 , 畫學 ,
詩書畫一致觀 一端
詩
, 詩的 情趣
相涉 相補 가 情景
, 文字 形象性
, 筆墨彩色 詩 情趣 意境
. 96) 文人畫家 . 后溪 趙裕壽 (1663 1741)가
孤山 尹善道(1587 1671) <漁父詞> " 湖山 "97)
澹軒 李夏坤(1677 1724) <龍貢寺圖> " 詩(王維 詩) "98)
. 李夏坤 "詩情 畫意
"99) "詩 "100) 가

94) 科頭箕踞長松下 白眼看他世上人.

95) 註 89)

96) 拙稿. 「東坡 蘇軾 文人畫 研究」, 大學校 大學院 碩士學位論文, 1983.

97) 趙裕壽, 『后溪集』 卷8 「題柳竹塢家恭齋扇譜冊」. 前冬 見尹孤山漁父詞 真是湖山有聲畫 非胸中有粉本不能

98) 李夏坤, 『頭陀草』 卷14 「龍貢寺(在通川)」, 余嘗愛摩詰 不知香積寺 數里入雲峰 古木無人經 深山何處鐘 元伯此幅 宛然此詩也自古工詩者 多善畫 盖詩情與畫意相通 品格自研清高 意者 元伯亦工於詩者耶. 李夏坤 繪畫觀 李仙玉, 「澹軒 李夏坤 繪畫觀」, 大學校 大學院 碩士學位論文, 1987 .

99) 上同

100) 上同 卷17 「南行集序」. 余嘗曰 作詩正如畫.

" 詩文 101)

詩文 造形

， <松下處士圖> <古木圖>， < 蜚圖>

가 雅趣 餘韻 人品

， 詩

詩書畫가 內的，外的 詞人墨客 가

雅趣 寓意 弄 藝苑 詩書畫

一致觀 詞人墨客 李夏坤 " 山水

法書 名畫 " " 가 102)

白岳藝苑 農巖 三淵

后溪 趙裕壽(1663 1741)， 槎川 李秉淵(1671 1751)， 順庵 李秉成(1675 1735)，

澹軒 李夏坤(1677 1724)， 恕庵 申靖夏(1680 1715) 詞人 老稼齋 金昌業(1658

1721)， 竹泉 金鎮圭(1658 1716)， 恭齋 尹斗緒(1668 1715)， 謙齋 鄭敦(1676 1759)， 觀我齋

趙榮祐 (1686 1761) 儒畫 角逐 風氣가

103) 知守齋 俞拓基(1691 1767) 白岳藝苑

享受 後景 一端 가

江山 游覽 ， 詩가 ，

가 가 가

西湖 5絕 가 卷

104)

가 " 가 詩畫 105) 槎川，

謙齋 詩畫 角逐 106) 一端 ， 恭齋

謙齋가 書畫 上等 詩名 ， 凌壺觀 李麟祥(1710 1760)

豹菴 姜世晃(1713 1791) 가

詩書畫一致 文人畫史

101) 洪啓能 撰，「通政大夫敦寧府都正觀我齋趙公行狀」。公於詩文 盖得其解 故嘗言 因畫而得於詩文者 多矣

102) 李仙玉，「澹軒 李夏坤 繪畫觀」， 大學校 大學院 碩士學位論，1987.

103) 崔完秀，「謙齋眞景山水畫考」，『澗松文華』29號，1985.

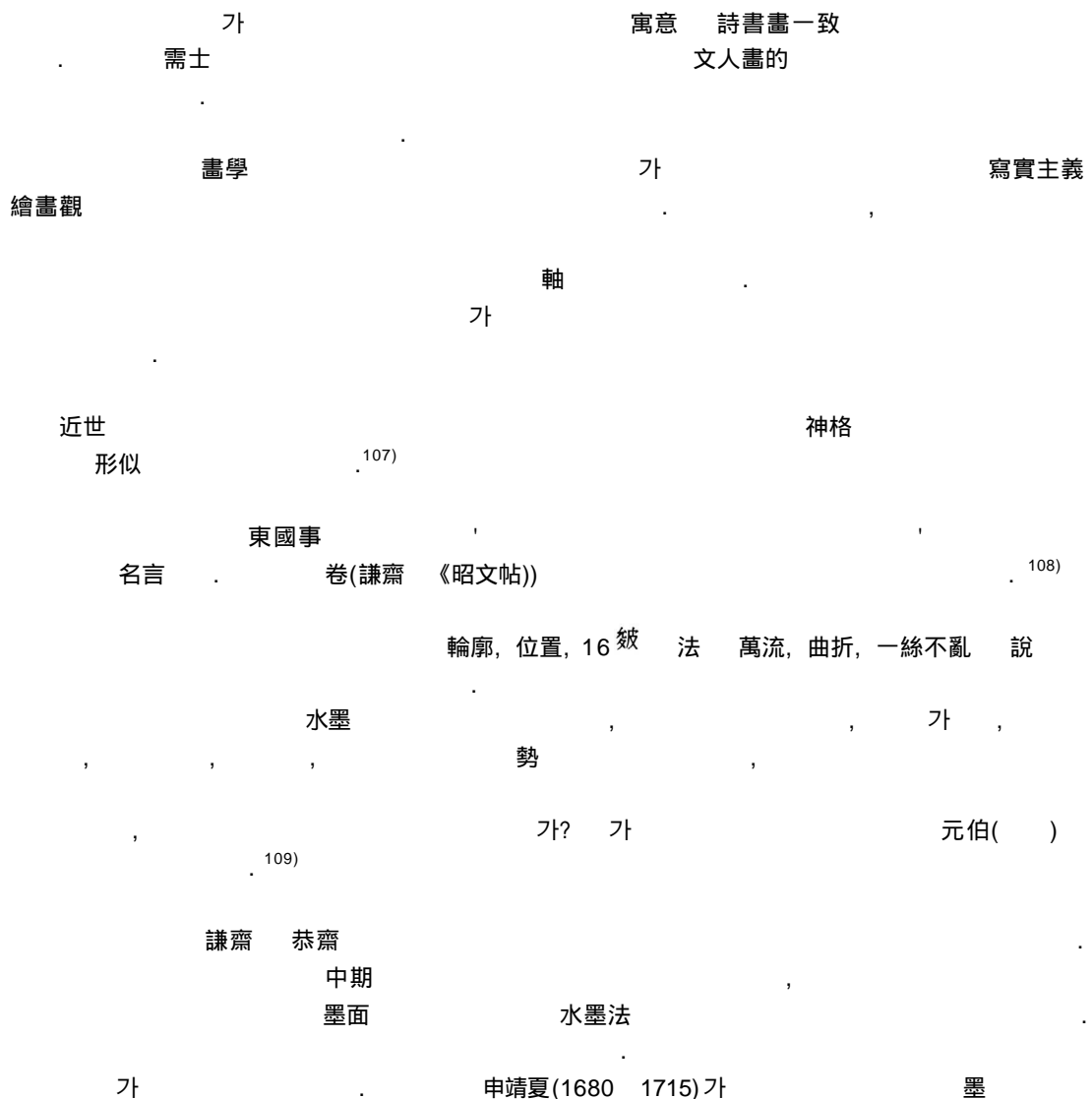
「導言」

104) 俞拓基，『知守齋集』 卷15 「題洪世泰詩李壽長畫鄭元伯畫後」。有是江山 不可無是詩 有是書 不可無是詩 有是詩 不可無是書 有是詩與書 又不可無是畫 雖謂之西湖五絕 可也 伏熱中忽得是卷 爲之 爽然開襟 若濯清風 己酉大 暑日題。

105) 『觀我齋稿』 卷2 「送三陟府使李秉淵序」。註 75)

106) 姜世昌，『槿域書畫徵』卷5 趙榮祐 條。洪儀泳題跋曰 素工人物 兼善山水 自金剛解 而歸 其境益進 聞多名作 且好評 臨 古畫 或有過情 人多譏之者 卜居於白岳山下 與詞人李 槎川秉淵畫師鄭謙齋敦爲隣 日日角逐 唱酬詩 畫 文采風流 照耀一時 觀我齋가 金剛山 說 『觀我齋稿』 金剛山

3. 寫實主義



107) 『觀我齋稿』 卷3「策題」. 近世之畫 率皆膚率庸瑣鄙野荒亂 神格固不可論 而形似者未或見焉.

108) 上同「題昭文帖」. 中朝人記東國事曰 壁間多不工之畫 眞名言 若使見此卷 未知以爲如何也

109) 上同「丘壑帖跋」. (朱萬壽謂)我東之畫山水者 於輪廓位置十六皴之法 萬流曲折一線不亂之說 未有能知之者 故雖層峰疊 惟以水墨一例塗抹 不復辨其向背遠近 高下淺深 土石夷險之勢 畫水 無論潺湲與洶湧 竝執兩筆 作繩交形 豈復有山水哉 余嘗論之如此 而元伯亦以爲是也

筆¹¹¹⁾ 趙龜命(1693 1737) 墨¹¹⁰⁾ 李楨 李澄 가 精奧 雅趣
¹¹²⁾ 神格
 가
 가
 가 元伯() 金剛諸山帖
 亂柴 皴 卷(《丘壑帖》) 嶺東 嶺南
 가? 元伯
 가?¹¹³⁾
 가
 畫科
 俗畫 人物
 萬里江山 一筆 雄渾 가 流動 가
¹¹⁴⁾
 가
 畫法 中期 가
 南宗畫 畫譜 가
 恭齋 謙齋, 唐詩畫譜 顧氏畫譜
 中國畫 가 自我

-
- 110) 申靖夏. 「恕菴集」 卷8 「答李一源」. 盖東人不無以善畫名者 而特以其墨而無筆 故不足以娛人懷.
 111) 李夏坤. 『頭陀草』 卷14 「題李一源所藏鄭元伯輞川渚圖後」. 金三淵謂 近日工詩者 多遠過曩時一番前輩 余謂 繪素家亦然 若鄭君此帖 豈瀨翁虛舟輩所夢見耶. 李夏坤 申鄭夏 竝記
 112) 趙龜命. 『東谿集』 卷6 「題柳汝範家藏尹孝彦扇譜帖(甲寅)」. 我國文藝雖盛 強海外可耳 進之中州 則趙客 之代簪也 文章自金農巖兄弟 書畫自尹孝彦 始探精奧 而趨雅道 然後彬彬質有其文 可與中州人揖讓先後矣.
 113) 『觀我齋稿』 卷3 「丘壑帖跋」. 然余見元伯所爲金剛諸山帖 皆以兩筆豎尖掃去 作亂柴 皴 是卷亦然 豈嶺東嶺 南山形故同歟 抑元伯倦於筆硯 而故爲是便捷邪.
 114) 沈金宰. 『松泉筆談』 貞冊. 觀我齋趙榮^祐 工於俗畫人物 常謂鄭謙齋曰 若使畫萬里江山 一筆揮灑 筆力之雄渾 氣勢之流動 吾不及君 至於一豪一髮 逼真精巧 君必少讓於我矣.

가 唐詩畫譜 顧氏畫譜
115), 가 唐人 筆意 倣 <漁船圖> 116),

<漱玉亭> 顧炳畫譜 荊浩 筆意가 , <月灘> 李咸熙
(成) 情意가 幽遠 , <花城邑里>
文待詔(徵明) 遺法 . <釣鯨臺> 情意 韻致가
가
117)

가
가
趙龜命 中國畫 尹榕 (1708 1740) 가
118)
119), 興 가 假

가 . 洪啓能

後生 公() 妙理 가 公
: 傳 , 物 興
知言
凡事가 120)

現場性 寫生性, 寫實性 生動性

115) 南泰膚, 『聽竹 錄·畫史』. 斗緒(中略) 於畫本無聞見之習師資之傳 而少時偶閱唐詩顧氏兩畫譜等帖 犁然心契 屈首臨習 凡一點一畫 無敢放過 期於必似 如是者有年 盡得其法.

116) <於船圖> "癸丑秋 倣唐人筆意 觀我齋" 款畫가 .

117) 成均館大學校博物館 編, 『槿墨(下)』 八二三 趙榮^拓 眞蹟. 漱玉亭 蒼潤可愛 有顧炳畫譜中荊浩筆意 月灘如 李咸熙之情意幽遠 花城邑里 疏簡雅潔 如吾姪家所藏文待詔遺法 至若釣鯨臺 意致渺然令人心目俱開對之 便有長風破浪之思 境與畫 當壓一卷. 崔完秀, 「謙齋眞景山水畫考」, 『濶松文華』 35號, 1988. 註 161) 完譯 .

118) 趙龜命, 『東谿集』, 卷6 「復題茱萸軒詩畫帖(二則)」. 嚮者 平山申正甫 慕悅東坡 作文寫字 一皆摸畫 於所居室 東坡像 戴東坡像 手東坡集 以對之 君悅之慕中華 殆近之乎 但今日中華之衣冠 不可爲也(中略) 今君悅強鑿書畫 渾沌粧就衰季門戶 以牽合於今之中華 抑何心也 余欲^擧君悅之指 而^昇此帖於虞山火聚 以求懺悔于持世金輪王.

119) 崔完秀, 崔完秀, 「謙齋眞景山水畫考」, 『濶松文華』 21號, 1981.

120) 洪啓能 撰, 「通政大夫敦寧府都正觀我齋趙公行狀」. 後生有請畫妙於公者 公曰 以畫傳畫 所以非也 卽物寫眞乃爲活畫 深於畫者 以爲知言 此非獨畫 凡事皆然.

寫生作品，『觀我齋稿』

尤庵畫像	竹泉(金鎭圭)	石橋(金昌業)가	起草	芝村 李文
簡公(喜朝)	師事		眞像草	
(李)元			文簡公	

先輩 草本 先見之明 文簡公 元亮 畫師

戊申年(1728) 洪季信 子 (俞默基) ,
子 子 季信 .
子 가 .
子 가 . 季信 ,
가 寫意法 . 子 .
122)

詩作

(1729) 閏秋(8月)	寒田翁	李德甫(厚鎮)	龜潭，仙巖，島潭
勝景	庚辰日	丙戌日	7
.	律詩	絶句가	112 , 가 .
.	.	.	.
實	性情	. 123)	跌宕 平

121) 《觀我齋稿》卷3「漫錄」：「元菴畫像 山泉石橋 皆爲之起草 余於芝村 李文簡嘗師事之 故偶於小片 白紙中 作眞像草 元亮諸人皆見而笑之 以爲甚肖 文簡公亦笑之 前顧謂余曰 更勿作此事 後必有難處之害 余泛然聽之 到今思之 先輩之言 可謂有先見之明也 其後文簡公卒 元亮以其草本 使畫師模寫 以藏焉。」

122) 上同 卷1 「俞參奉默基挽」. 戊申春 余於洪季信宅 始識子 一見即與之顛倒子 善食酒 方興季信對飲 於是子 自酌酒滿盃 勸余 余一啐 便顏發赤 子 笑余不能飲 季信出小扇 索余畫 創猝無以應 用寫意法 作三人對酒狀 子 多髯 以秃筆掠之爲髯 相與傳看 一笑而罷.

123) 上同 卷2 「丹丘酬唱詩序」：今年閏秋 余與寒田翁及李德甫 往觀龜潭仙巖島勝諸口 庚辰發行 丙戌始還 首眉蓋七箇日 其間相與唱酬律詩絕句 合一百十二篇 皆卽事寫景 率意信筆之作也 故其言近 其旨淺 無幽眇精巧之思 然亦皆出於謹愉自適 嘲笑謔之餘 故往往有疏宕平實 可見其情性者 則亦不可棄之也。

載道論

效用論的 가 「策題」 諸生 雜技가 有用

：古人 法教 人倫 가? ¹²⁶⁾

經緯

6經 功 山川, 草本, 人物 古今 衣冠, 道具, 制度 有用 技藝가

君子가 雜技

가? 諸生 古人 法 ¹²⁷⁾ 가

形象性 儒教 6經 功 가

山川, 草木, 人物, 古今 衣冠, 道具, 制度 格物致知 雜技가 儒者 가

가「策題」

禹 鐘鼎 舜 旅章

軌度 國制 가? ¹²⁸⁾ 聖人

殷 高宗 傳說 物色 道 武帝가 光

125) 洪善杓, 「朝鮮後期 繪畫觀-實學派 繪畫觀」, 『山水畫(下)』, 中央日報社刊 韓國 美 12, 1982.

126) 『觀我齋稿』卷3 「策題」. 問 古人謂 筆者 成法教 助人倫 創於何代 盛於何時歟.

127) 上同. 文末盡經緯 書不能形容者 求之於畫 而要在其鑑別賢愚 發明治亂 則此所謂六經同功者也 山川草木 人物 古今衣冠端用制度 亦皆通曉 而後方可謂真畫 而爲有用之技矣 此博雅君子所富留意 而不可以雜技忽者 也 何以 則使一世之畫 可臻於古人之法 而須國家之用歟 願聞諸生之言

128) 上同. 大禹刻之鐘鼎 識 魅而知神姦 帝舜名于旅章 昭軌度而備國制 雖聖人之智 非畫 則不能爲是歟.

命¹²⁹⁾ 婕妤 好 命 古圖 , 鄭俠 流民
 柝屋 ,
 가? ¹³⁰⁾
 文宗 尙書 君臣事跡 太液亭
 , 韋機 孔子七十二弟子 漢晉 名儒 學館 生徒
 道 胄子 가 ,
 가? ¹³¹⁾
 漢 高祖 泰府圖籍 , 唐 太宗 鍼灸圖
 鞭背 刑律 , 가? ¹³²⁾
 商 紂王 酒飲 , 龐德 于禁 事跡
 가? ¹³³⁾
 范宣 南都賦圖 , 王羲之 東禮殿圖
 , 가? ¹³⁴⁾
 陸機 雅 頌 述作 , 張彥遠 名教 樂事 ,
 가? ¹³⁵⁾
 史書 效用的 諸事例 .
 政教的 , 가
 , 가 儒士
 .
 政教的 , 「策題」
 , , ,
 .
 金日^碑 闕氏 像 ,
 가? ¹³⁶⁾
 曹南院 元昊 像 가 ,
 가? ¹³⁷⁾

129) 前同. 「太宗之求傳說 非畫 無以施物色之道 武帝之命 光 非畫 不能示寄托之意歟.

130) 上同. 婕妤 好辭同輩之命 而引古圖以證 鄭俠陳流民之狀 而繪柝屋以獻 感悟人主 亦莫過於畫歟.

131) 上同. 文宗 自撰集尙書中君臣事跡 命畫於太液亭 朝石觀覽 韋機畫孔子七十二弟子及漢晉名儒於學館 敦勸生徒 人君自驚之道 胄子教誨之方 亦必資圖書歟.

132) 上同. 漢高祖得秦府圖籍 而識險夷之處 唐太宗見鍼灸圖 前減鞭背之律 可謂畫之助歟.

133) 上同. 商紂長夜之飲 畫傳者 何意 龐德于禁之事 竝畫者 何意歟.

134) 上同. 范宣之見南都賦圖 稱其有益 王右軍聞陳禮殿圖 恨不克見 二人之所取者 何故歟.

135) 上同. 陸士衡比於雅頌之述作 張彥遠以爲名教之樂事 兩人之所貴者 何事歟.

136) 上同. 金日^碑 見闕氏像 而輒爲流涕 畫之感人者 能如此歟.

137) 上同. 曹南院見元昊像 而知其將叛 畫之博神者 果若是歟.

閻立本 昭君圖 後人 帽가 , 李公麟 賢己圖 蘇軾
 人 가? ¹³⁸⁾
 가 六法 三品 , 六要 六長 , 大斧劈 小斧劈 法 , 小
 字形 介字形 가? ¹³⁹⁾
 ' 山 一丈 , 一尺 , 一寸 一豆 ' 訣 가? ¹⁴⁰⁾
 가? ¹⁴¹⁾ 賦
 [蘇軾] ' 가 가 ' 說 法 ,
 ' 孟氏가 孫叔敖 가? ¹⁴²⁾
 市場氣 畫卷氣 , 南派 北派 가? ¹⁴³⁾
 가 儒士
 가 鑑賞性 가 ,
 認識的 感性的 가
 가
 效用論的 , ' 清明上河圖跋 ' .
 <清明上河圖> 東亞文化圈 風俗畫 究極
 . 1704 19 跋文
 明 仇十洲(英) 清明上河
 , 或 河 汴河 . 『大明一統志』 , 汴河 榮陽縣
 大周山 發源 開封府 城內 蔡河 通濟渠
 隋 煬帝가 , 開封 汴京 天下 . 周邦彥
 <汴都圖> , ' 汴水 城 水路가 ' ,
 ' 紅梁 가 ' , 城
 가 가 가 가 隋堤 , 가
 가 가 가 開封 汴河 가?
 가 構明 風俗

138) 前同. 閻令公昭君圖 後人譏 帽之非 李伯時賢己圖 東坡辨辨閻人之音 其故可得詳言歟.

139) 上同. 畫家有六法三品 有六要六長 有大斧劈小斧劈之法 小字形介字形之忌 皆可指言歟

140) 上同. 山高月 小水落石出者 誰人之訣歟.

141) 上同. 長山尺木寸馬豆人者 誰人之賦歟.

142) 上同. 兔起 飛之說 所論者 何法 優表孫頻之鳴 所署者 何事歟

143) 上同. 市氣書氣之異 南派北派之分 亦可歷指歟.

3節 一節 遠近 가 ,
 一節 城 市塵 樓觀 , 가 一節
 , 가 商船 .
 1489 , 가 61 , 34 , 33 , 가 6
 가 , 가 2 , 가 3 , 2 , 6 ,
 가 4 , 2 , 가 1 , 2 . 가
 가 男女老少가 가
 , , , , ,
 , , , , 匠人, 工役, 歌舞, 妙 曲護
 , , , , 人間事 가
 , 가 가
 , 가 ,
 , , 塗, 頭室 .
 가? 가 風俗
 范宣 戴安道가 <南都府圖> 文物制度가
 ' 有益 ' .
 . 李童山 . 가 病
 數 . 甲申(1704) 1月 日 宗甫 144)
 清明上河 事實 가
 , 風俗畫가 ,
 가 가 病中 寓意

144) 前同「清明上河圖跋」。右皇明仇十州畫也 所謂清明上河者不知爲何事 而或曰 河則汴河 按大明一統志 汴河
 源出滎陽縣大周山 東經開封府 城內合蔡河 名通濟渠 隋煬帝所鑿也 開封是汴京 天下之一大都會也 又按周邦
 彦 汴都賦曰 惟彼汴水貫成爲渠 又曰 跨虹梁以除病涉 今見圖 河水貫城而出 夾岸群柳似隋堤 大橋跨河 勢若
 飛虹 此果開封河耶 今不可質言也 然大抵其俗清明 必大開市於河橋之上 水陸商賈行旅遊賞之徒 咸聚焉
 其人物繁華 有如此者矣 圖凡三節 前一節 遠近赴市之狀也 後一節 域中市塵樓觀之狀也 中一節 卽河橋開市
 之盛也 橋左右帆檣簇立者 皆四方商船也 合人一千四百八十九 驢 六十一頭 羊三十四頭 馬三十三匹 牛六
 頭 又一頭赤且高 而與他牛異 犬二 藁 三鹿二 鷄六 鵝四 鶴二 鷹一 孔雀二 畫久遠殘缺 雖不可詳計 此其
 大略也 人大小不容一棗核 而耳目鼻口 精神 發 老幼男女 各具其態 行者坐者 騎者趨者 俯伏者仰視者 向背
 正 曲盡其妙 而莫有同者 射獵遊觀 商旅乞丐 匠巧工役 歌舞鬪狼 凡人事之可喜可愕者 備悉備具 而使覽者
 歷歷如真入其中 誠畫之工者也 且考其使用道 驢過於馬 運載者 車輪爲多 首尾亞肩疊背者 皆男子 婦女間有
 之 而亦在閭 詞廟之間 是豈畫苟然哉 可見中華風俗之所存矣 昔范宣之見戴安道所作南部賦圖 知其文物制度
 皆有所據 躍然而起曰 畫之有益如是夫 余於茲圖亦云 圖李童山所藏也 余病中無所聊遣 借而閱之 遂略記其數
 而歸之 甲申 元月日 宗甫記。

自然 社會 士農工商, 男女老少 喜怒愛樂
人間事, "風俗" 가
「策題」 가

山川, 草本, 人物 古今 衣冠, 道具, 制度
(眞畫) , 有用 技藝가 145)

가

가 人間事 風俗畫

寫生 造形化 朝鮮 人間事 風借 新片

耕織圖 無逸圖, 幽風圖 目的畫類¹⁴⁶⁾

(澗松美術館 研究員)

145) 註 127)

146) 洪善杓, 「朝鮮時代 風俗畫發達 理念的 背景」, 『風俗畫』, 中央日報社刊 韓國 美 19, 1985